

# 積貞棟1・8階

腫瘍内科・放射線治療科  
血液内科・乳腺外科・共通  
外来がん診療部・外来化学療法室



# 積貞棟1階の案内図



診察室 13室  
 処置室ベッド 3床  
 化学療法チェアー29床  
 小児治療室

がん診療部

がん相談支援センター



外来  
 化学療法室



# 外来がん診療部

- ▶ 医師の指示に基づいて、点滴や輸血、注射などを行います
- ▶ 診察の待ち時間や点滴中に、患者さんの体調や日常生活の困りごとがないか声掛けをしています。必要時には医師の診察に同席します。
- ▶ がん患者さんは急に体調が悪くなることも多いです。予定外の処置受ける場合は患者さんと家族の不安の軽減に努めます。





# がんゲノム特別外来

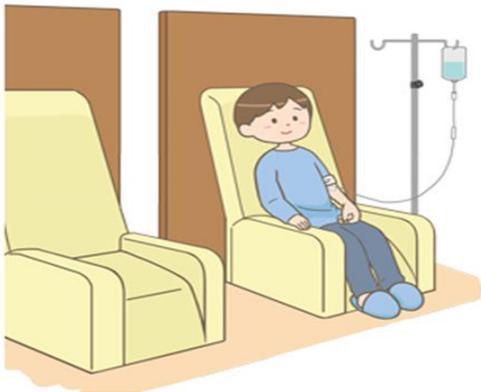
- ▶ 京大病院は、2018年4月にがんゲノム医療中核拠点病院に指定されています。2019年よりがんゲノム特別外来が開設され、**がん遺伝子パネル検査**を実施しています
- ▶ 院内のがん看護専門看護師が初回の検査説明時から患者さんのサポートをしています

☆もっと詳しく知りたい方はがん看護専門看護師の活動スライドをご参照下さい



# 外来化学療法室

- ▶ 初回治療のみ入院で行い、アレルギー症状などの副作用がないことを確認したら、1階の外来化学療法室での治療へと移行します
- ▶ IVナースレベルⅣの認定を受けた看護師が、安全で確実な抗がん剤投与を実施しています



1日あたりの外来化学療法患者  
さんは約50～70人

# 外来がん診療部 診察の様子

- ▶ 診察中の患者さん・家族の反応や表情を知るために、**看護師も診察に同席**しています。また患者さんや家族が**話しやすい雰囲気**を作れるように心掛けています
- ▶ 説明内容によっては、**診察後にも不安や疑問点がないか確認**しています。



# カンファレンスの風景

- ▶ 入院中だけではなく、**外来通院中**の治療経過・訴えなどを情報共有をして、実際のケアに繋がっています



# 病棟外来連携①

- ▶ 外来部門と病棟での連携業務を強化し、がんの診断から治療期そして在宅やホスピスへの橋渡しまで、切れ目のない安全で効果的な看護実践に取り組んでいます
- ▶ 積貞棟1・8階の看護師は、患者さんの生活の中の困りごとや今後の生活における意思決定支援などに継続し関わっています



# 病棟外来連携②

積貞棟 8階 集学的がん診療部  
(腫瘍内科、放射線治療科、血液内科、  
乳腺外科、共通)

積貞棟 1階 外来部門  
(外来がん診療部、外来化学療法部)



1階と8階で同じスタッフ  
で対応しています

積貞棟1・8階  
看護師



患者さんが入院⇔外来に移行した際継続してケアができます

- ・入院中、外来でのフォローが必要な患者はピックアップします
- ・入院中の状態や外来での様子・自宅での状況をそれぞれカルテに記載し、情報共有しています
- ・患者さんの状態や心情は変化するものであり、入院と外来で継続的に関わることで、ケアや意思決定支援につなげています

# 職員紹介（外来業務の場合）

## 積一さんのある1日（看護師寮生活）

- 6:30 起床 ☀
- 7:50 家を出る
- 8:30 診察室・処置室の準備開始
- 8:45 外来連携患者のカンファレンス
- 9:00 全体申し送り
- 9:15 処置・検査説明・外来連携患者への対応
- 12:00 休憩(1時間)
- 16:30 診察室や処置室の片づけ・物品補充
- 17:15 退勤
- 18:00 夕食 🍴
- 20:00 TV鑑賞・趣味
- 23:00 就寝 🌙



## 仕事をする上で大切にしていること

- 点滴や注射を実施する際は優しく声かけを行い、患者さんが安心して治療を受けられるよう工夫しています。また点滴中も副作用の出現がないかバイタルサインや患者さんの様子をこまめに確認しています。
- 体調不良の患者さんへ対応を行うことが数多くあるので、突然の出来事にも対応できるよう、落ち着いて行動することを意識しています。
- 看護師同士で報告・連絡・相談をし、協力しながら患者さんのケアや外来連携を図れるようにしています。
- 家に帰ってからは趣味などに取り組める時間を作り、リラックスして過ごしています

積一 八代さん（入職2年目、積貞棟1・8階）

## 主な仕事内容

- ▶ 医師の指示に基づいて皮下注射や筋肉注射や輸血、腹腔穿刺の介助など日帰りで行うことができる処置を実施をしています。
- ▶ 診察の待ち時間や点滴中に、患者さんの体調や日常生活の困りごとがないか声掛けをしています。
- ▶ 医師の指示を受けて外来の患者さんへ内視鏡やMRIなどの検査説明を行っています。

## メッセージ

- 積貞棟1,8階は連携しており、同じスタッフが対応することが多いです。そのため8階の病棟を退院した患者さんの様子を退院後も直接伺うことができます。入院中に「家で過ごしたい」と仰っていた患者さんの笑顔が外来で見られると安心します。
- 積貞棟1階では病棟では経験できないさまざまな手技や抗がん剤についての知識を身に付けることができます。外来での点滴治療を知ることによって患者さんの退院後の生活をイメージしながら病棟でも勤務ができます。とてもやりがいのある部署なので毎日奮闘しながら楽しく働いています！





積貞棟 1 階 → 積貞棟 8 階へ！



# 積貞棟8階①

- 病床数 ⇒ 37床  
(腫瘍内科17床・放射線治療科13床・血液内科4床・乳腺外科2床・共通1床)

## 【主な治療内容】

化学療法  
放射線療法  
放射線化学療法  
内視鏡治療

治験・臨床試験



## 積貞棟8階②

- 看護体制  
パートナーシップナーシングシステム  
固定チームナーシング
- 積貞棟1階の外来（化学療法室・がん診療部）の業務も  
兼務



病棟と外来の両方で活躍できる！

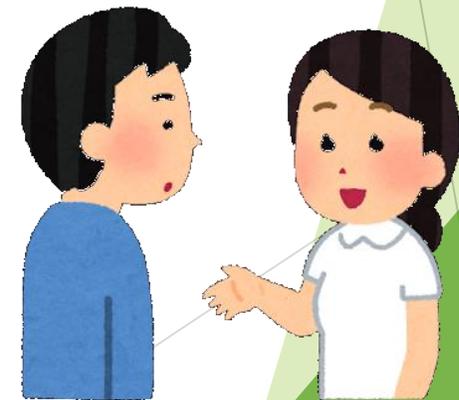
がん患者さんの様々な心身の症状に対する  
アセスメントを行い、チーム医療を提供。

緩和ケアチーム・薬剤師・栄養士・地域  
ネットワーク医療部など他職種が連携。



# 化学療法における看護の役割

- 治療前のオリエンテーション  
→採血結果、抗癌剤の投与歴などの確認  
クリニカルパスを使用し抗癌剤投与の流れ、副作用等を説明
- 安全な抗がん剤の投与  
→レベルⅣによる血管の選択、体調の確認、  
有害事象のモニタリングと対処
- 患者教育・セルフケア支援  
→外来治療前のオリエンテーションなど
- 心理・社会的支援  
→患者・家族の思いの聴取、療養調整など
- 緩和ケアへの移行時における支援  
→緩和ケアチーム、地域ネットワーク医療部との連携など



# 放射線治療における看護の役割

- 治療前のオリエンテーション  
→クリニカルパスを使用して、治療の流れや治療中に起こりやすい症状や注意点などの説明
- セルフケアサポート  
→照射部位のケア方法などの説明、指導
- 心理的サポート  
→不安などの聴取および必要時介入
- 治療中・後の有害反応の評価・対処
- 外来、放射線治療部との連携



# クリニカルパス

- ・クリニカルパスとは、検査や治療の予定とタイムスケジュールをまとめた表です。
- ・看護師用とは別に患者さん用の説明用紙を作成しています。

2017/6/16作成

## FP（フルオロウラシル+シスプラチン）療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目以降	29日目以降	
内服	アプレピタント 1時間半	制吐剤投与時看護師が配ります(125mg)	朝食後看護師が配ります(80mg)					退院～	コース目	
点滴	補液	1時間半	30分	30分	30分	30分	30分			
	制吐剤	1時間半								
	利尿剤	10分								
	シスプラチン	2時間								
点滴	補液	3時間半	5時間	5時間	5時間	5時間	5時間			
	フルオロウラシル	24時間持続								
主な副作用		嘔気・嘔吐・食欲不振		腎機能障害		口内炎・粘膜炎		白血球減少		
				下痢・便秘						
	悪心・嘔吐・食欲不振	□ 一時的に食欲が低下しますが、多くは一定期間で回復します。食欲のない時は、食べられそうな物を少量ずつ摂取し、できるだけ水分を摂るようにしましょう。（食欲がない人には、病院食で食べやすいものを選択できるメニューもあります。）吐き気が続くときは吐き気止めを使用します。								
	白血球減少	□ 7日目頃から白血球が減り始め、感染しやすくなります。入院中から手洗い・うがいなどの感染対策を身に付けましょう。入浴に行く際はマスクを着用しましょう。								
	下痢	□ 下痢になることがあります。激しい下痢の時は脱水症状になることがあるので、下痢止めを使うこともあります。								
	便秘	□ 便秘になることがあります。排便がなければ下痢を使い、排便が毎日あるように調整します。								
	腎機能障害	□ 毎朝朝食前に体重測定をしてください。2kg以上の増加しているときは利尿剤を投与します。								
	血管外漏出	□ 血管外に薬剤が漏れると注射部位にびらん・水疱・潰瘍などを作り、重篤な障害を起こすことがあります。点滴中は安静にしましょう。投与中に痛みや違和感があれば、我慢せずに知らせてください。								
	口内炎	□ 治療終了後から口内炎になる事があります。口腔内を清潔に保つようにしましょう。違和感を感じた際は含嗽水や軟膏処方しますので知らせてください。								

それぞれの患者さんの化学療法に合わせて、出てきやすい副作用症状やその対処方法、点滴の流れを事前に説明しています。

例えば...  
便秘になりやすい



→薬剤調整、食事、運動、水分、温罨法・・・

# ナースステーションの様子

## <点滴作成台>



## <パートナーシップナースング>



## <処置室>



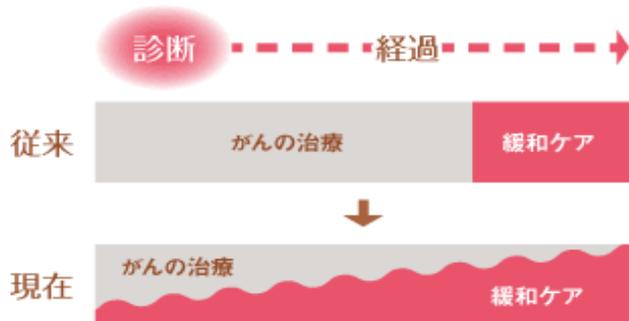
毎朝点滴をたくさん  
作成します

化学療法の初回  
投与を行う時に  
使用します

日勤ではペア  
で業務を行いま  
す

# 診断時からの緩和ケア

図1：WHO（世界保健機関）の緩和ケアの考え方



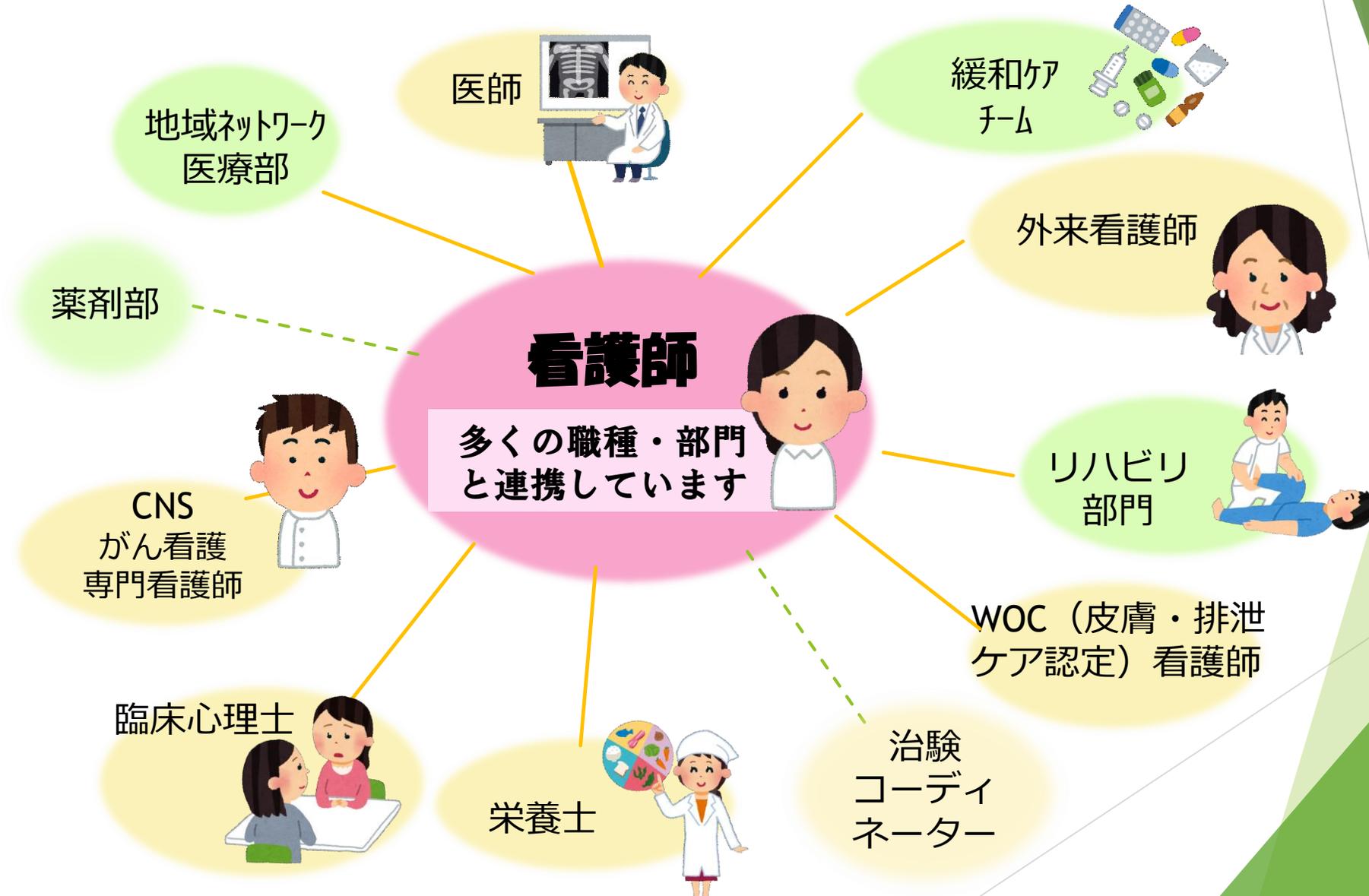
病気に伴う心と体の痛みを和らげられるよう、多職種・多部門と連携し切れ目のない看護を行っています。



入院時から退院後の療養を見据えて支援を検討します。

病棟と外来の看護師が一緒だからこそ、入院～外来まで継続した看護が行える

# 【他職種・他部署との連携】



# 職員紹介（病棟勤務の場合）

●積八 一子さん

●入職2年目、積貞棟1・8階

●主な仕事内容

入院がん診療部門では、化学療法や放射線治療、内視鏡治療など様々な治療を併用し、診療科の垣根を越えた「集学的がん治療」を実践するがん治療専門病棟として診療を行っています。ここでの看護師の役割は治療の遂行と、治療による有害事象をできる限り起こさないように支援することです。また、症状のある患者の症状コントロールを他職種で行ったり、患者の心理・社会的支援も行います。



## 積八さんのある1日



- 6:00 起床
- 8:00 出勤、メールチェック、情報収集
- 8:45 朝の全体申し送り
- 9:00 ペアと情報共有  
朝のラウンド、抗癌剤投与、検査の準備や出棟、清潔援助
- 11:30 昼休憩/配膳や配薬
- 13:45 カンファレンス
- 14:00 昼のラウンド、抗癌剤投与、明日の点滴や検査や処置の確認と準備
- 17:15 退勤
- 18:30 帰宅、家事や学習など自由時間
- 23:00 就寝



## 仕事をするうえで大切にしていること

仕事をするうえで大切にしていることは責任と円滑なコミュニケーションです。ケアの実施者として責任を持ち、不明なことがあれば先輩を頼り、正しい手順で安全に患者にケアを提供できるよう意識しています。

また、患者さんや、一緒に働く先輩、後輩、医者、薬剤師、栄養士など、たくさんの人とコミュニケーションをとる必要があります。周りのスタッフと良い関係を築くことができるよう笑顔とアイコンタクトを大切にしています。優しい先輩も多く、恵まれた環境で働かせてもらっていると感じます。



## メッセージ

責任の重い仕事ではありますが、自分の行ったケアで患者さんが笑顔になってくれることが何よりも今後の励みになります。何でも相談できる同僚、いつでもアドバイスをくれる先輩に囲まれ、楽しく働くことができます。失敗することや困ったことが起こるときもありますが、何か良い方法がないかみんなで一緒に考え、周囲のスタッフと励まし合いながら仕事に取り組んでいます。